

# 1.安全上のご注意

安全のために必ずお守りください。

お取り付け前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。  
ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容となりますので、必ずお守りください。

●表示と意味はつぎのようになっています。

●お守りいただく内容を絵表示で区分し、説明しています。



**警告**

誤った取り扱いをすると、「死亡又は重傷を負う可能性が想定される」内容です。



してはいけない「禁止」の内容です。



**注意**



誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性および物的損害※の発生が想定される」内容です。





必ず実行していただく「強制」の内容です。









※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

 分解禁止	修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造は行わない 火災や感電の原因となります。	 ぬれ手禁止	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない 感電の原因となります。
	 アース接地		アース(D種接地)工事がされていることを確認する アース工事がされていないと故障や漏電のとき、感電の原因となります。 アース工事は、お近くの工事店に依頼してください。
 <b>警告</b>	 禁止	指定する電源(交流100V)以外では使用しない 火災の原因となります。	電源プラグやコードが傷んだりコンセントの差し込みがゆるいまま使用しない 火災や感電の原因となります。
		電源コード・電源プラグが破損するようなことをしない 傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたり、挟み込んだり、加熱したりしない 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。	ガタついているコンセントは使わない 火災や感電の原因となります。
		屋外および傾斜のあるような壁面、振動の激しい場所に取り付けない 取り付けが不安定になり、倒れたり落下してけがやときに死亡の原因となります。	給水および排水管の真下部にコンセントを設置しない 結露水などにより、コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。
		雷が発生しているときは、電源プラグに触れない 感電の原因となります。	器具取付用のねじ固定部の壁裏には、配管・配線を通さない 火災や感電の原因となります。 水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。
		ウォシュレットの給水ホースをコンセントに接触させない 結露水などにより、コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。	コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。
		電源プラグは根元まで確実に差し込む 火災や感電の原因となります。	壁固定ねじ取付位置には、必ず壁裏を補強する 商品の転倒、落下によりけがやときに死亡の原因となります。
 必ず守る	コンセント位置・電源コードの取り回しは、本説明書に記載された位置・方法・注意事項を厳守する 結露水などにより、コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。	電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜く コードを引っ張るとプラグやコードが傷んで、火災や感電の原因となります。	
	取り付け面がタイル・コンクリート壁の場合は、コンクリート用プラグ(現場手配)を使用する 取り付けが不安定になり、落下によりけがやときに死亡の原因となります。	工事完了後、商品の傾きやがたつきがないか確認する 商品が落下したり、外れたりしてけがやときに死亡の原因となります。	

 <p><b>警告</b></p>	 <p>必ず守る</p>	<p>石こうボードの場合は指定のボードアンカーを使用する 取り付けが不安定になり、落下によりけがやときに死亡の原因となります。</p> <hr/> <p>商品を取り付ける柱・間柱は、腐食などで強度不足でないことを確認する 取付物の転倒・落下によりけがやときに死亡の原因となります。</p>	<p>機器の設置は専門業者が行う また、電気工事は関連する法令・法規に従って有資格者(電気工事士)が行う 火災や感電の原因となります。水漏れして、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。 商品の破損や落下によりけがをするおそれがあります。</p> <hr/> <p>コンセントは水や小水がかからない位置に設置する コンセントに水がかかり、感電・発火の原因となります。</p>
---	---	--	--

 <p><b>注意</b></p>	 <p>禁止</p>	<p>水道水および飲用可能な井戸水・地下水以外は使用しない 皮膚の炎症などを起こす原因となります。</p>	<p>給水ホースが破損するようなことをしない 傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたり、挟み込んだり、加熱したりしない 給水ホースが破損し、水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。</p>
		<p>止水栓を開けたままで給水フィルターをはずさない 水が噴き出し、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。</p>	<p>カウンターの上に乗って作業しない カウンターが破損したり落下したりして、けがの原因となります。</p>
	<p>商品に強い力や衝撃を与えない 商品の破損や落下によりけがをするおそれがあります。 水漏れして、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。</p>	<p>設置工事に使用する部材は必ず付属部品および指定部品を使用する 取り付けが不安定になり、使用中に落下してけがの原因となります。水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。</p>	
	<p>給水フィルター・給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは接続部やフィルターふたを確実に締める 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。</p> <p><b>※止水栓は必ず製品同梱の専用止水栓(フィルター付き)を取り付けてください。</b></p>	<p>給水・排水接続に関する作業は、本説明書に記載された方法・注意事項を遵守する 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。</p>	
	<p>工事完了後、給排水管から水漏れがないか確認する 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。</p>	<p>給水ホースと分岐金具を正しく接続する 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。</p>	
	<p>カットした面は滑らかに仕上げる 滑らかに仕上げないとお客様の手が触れ、けがをする原因となります。</p>	<p>ねじ部の固定については、本説明書に記載された方法・注意事項を遵守する 商品が破損し、けがをする原因となります。</p>	
	<p>商品の取り付け・加工は、本説明書に記載された方法・注意事項を厳守する 商品が破損・落下し、けがのおそれがあります。</p>	<p>水準器を用いて水平に設置する 収納物が落下してけがの原因となります。</p>	
	<p>商品の壁への固定が完了するまで、もたれたりものを載せたりしないよう十分注意する 商品が倒れたり落下してけがの原因となります。</p>	<p>手洗器等、器具周囲のすきま処理は、本説明書に記載された方法・注意事項を厳守する 水が浸入し、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。</p>	
<p>推奨位置以外に設置する場合は、安全性を十分に確認する 取り付けが不安定になり、使用中に落下してけがの原因となります。</p>	<p>便器の水たまり部を見て、封水が切れていないことを確認する 封水が切れている場合に下水ガスや塩素ガス、硫化水素などによって設備・機器が腐食し、物的損害・傷害の生じるおそれがあります。</p>		
<p>凍結のおそれがある地域では、凍結防止工事を行う 凍結すると器具の一部が破損し、水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。</p>			

**マーク表示について**

 <p>寒冷地仕様の場合を示します。</p>	 <p>シール シールテープを巻いてください。</p>	 <p>けがき けがきをしてください。</p>
 <p>手締めで 電動ドライバー使用禁止です。 手締めしてください。</p>	 <p>カット カットしてください。</p>	 <p>水平確認 水準器で水平・垂直確認してください。</p>
 <p>下穴 下穴をあけてください。 (例:φ3の場合)</p>	 <p>ボードアンカー ボードアンカーを差し込んでください。</p>	

## 2. 取り付け前のご注意

### 取り付け前の確認

- 1 取り付けに必要なトイレスペースを確保する  
▶P.6「設置寸法」参照
- 2 給水取出位置・排水管位置およびコンセント位置が所定の位置であることを確認する  
※ウォシュレット用電源コードの長さは約1mです。  
コンセントはこの長さに適した所定の位置に設置しているか確認してください。
- 3 給水条件  
最低必要水圧：0.05MPa(流動時)  
最高水圧：0.75MPa(静止時)  
給水温度：40℃以下  
この圧力範囲で使用してください。
- 4 キャビネットの表面に指定のクッション材・ラベル以外は張らない
- 5 ボードアンカーは、引抜強度200N以上のものを使用して、正しい施工方法で取り付ける

#### 参照

「水漏れ確認」は、本説明書を参照してください。  
「ウォシュレットへの通電」はウォシュレット施工説明書を参照してください。

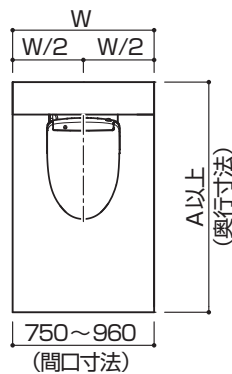
## 1 設置寸法

トイレの広さは以下の寸法を確保してください。  
間口750mm未満には対応できません。

#### 間口750～960mm

※ まるごと収納タイプおよび収納タイプとスリム収納タイプでは、便器前出寸法が異なるため、設置できるトイレの寸法が異なります。

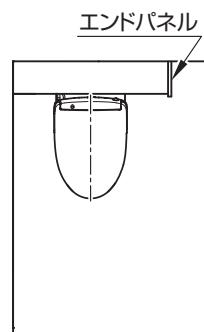
タイプ	A
まるごと収納タイプ/収納タイプ	1200
スリム収納タイプ	1115



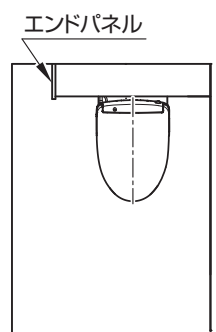
#### エンドパネルを使用する場合

・ エンドパネルを利用して、壁とすき間をあけて設置することもできます。

#### 【Lタイプの場合】



#### 【Rタイプの場合】



## 2 キャビネット扉の開閉範囲

- ・ 大便器キャビネットの扉は下図の範囲で開閉します。
- ・ 開閉範囲内に障がい物がないことを確認してください。

#### 大便器キャビネット

( )内は間口960mmの場合

